

修士論文（要旨）
2024年1月

中国都市部における一人っ子の親世代の将来の介護の準備についての意識に関する研究
－ 広州市を例に －

指導 中谷 陽明 教授
国際学術研究科
国際学術専攻
老年学学位プログラム
222J5009
LIN WEN

Master's Thesis (Abstract)
January 2024

A Study on the Attitudes of the Elderly Parents of One-Children in Urban China Toward Preparation for
Future Needs: The Case of Guangzhou City

LIN WEN
222J5009

Master of Arts Program in Gerontology
Master's Program in International Studies
International Graduate School of Advanced Studies
J. F. Oberlin University
Thesis Supervisor: Yomei Nakatani

目次

第1章 緒言.....	1
1.1 研究背景.....	1
1.2 先行研究.....	2
1.3 研究目的.....	4
第2章 研究方法.....	4
2.1 調査対象と方法.....	4
2.2 倫理的配慮.....	5
2.3 調査項目.....	6
2.4 分析方法.....	6
第3章 研究結果.....	6
3.1 対象者の概要.....	6
3.2 「将来の介護ニーズへの準備」各要因の比較.....	8
3.3 「将来の介護ニーズへの準備」に関連する要因.....	10
第4章 考察.....	15
文献	

1.研究背景

1980年から36年間、中国では「一人っ子」政策が実施され、伝統的な家族構造が急速に変化した。2021年に発表した第7回中国の人口調査データによると、1982年からの38年間1世帯当たりの人数は平均で1.79人少なくなった。2015年には、中国の一人っ子は2億2500万人に達したと推測されている。2016年から「一人っ子」政策を廃止したにもかかわらず、将来的には低い出生率にとどまるリスクがあり、数多くの一人っ子世帯は一定期間保持される。第一世代の一人っ子の親が定年を迎え、高齢期の段階に入る一人っ子の親の規模は今後さらに拡大する。一人っ子の親の高齢化が進み、中国は一人っ子の親の介護ピークを迎えつつある。

高齢化の一層の進展により、一人っ子世帯の増加を背景に、高齢者の介護負担は増大の一途をたどっている。そこで、人口の少子高齢化が急速に進むという重要な時期に、一人っ子の親世代が将来の介護ニーズに対する準備を研究することは重要である。

2.研究目的

本研究では、一人っ子世帯の親を対象に、一人っ子の親世代が日常生活活動を自立して行えなくなったときの計画を立てるために行う態度、思考、行動という介護ニーズへの準備状況を把握した上で、今後の介護に向けて個人がどのような準備活動をしておけば、介護生活の適応や介護生活を安心して過ごすことができるのかを検討することを目的とする。

3.研究方法

広州市荔湾区および逢源街道在住の50～69歳までの一人っ子世帯と多子世帯の親を研究対象としてアンケート調査を実施する。主に基本属性、介護ニーズへの準備状況、親孝行への期待について調査を行なった。将来の介護ニーズへの準備尺度は、5因子(自覚、介護への回避、情報収集、意思決定、具体的計画)15項目によって構成され、親孝行への期待尺度は、感情的期待、道具的期待、接触的期待、情動的期待の4因子16項目で構成された。回答結果は単純集計、クロス集計、ロジスティック回帰分析を行い、統計解析を行った。

調査期間は2023年9月～10月であった。

倫理的配慮：本研究は桜美林大学研究活動倫理委員会によって承認された(承認番号23013)。

4.研究結果

4.1 対象者の概要

本研究において、一人っ子の親世代と多子の親世代の人口統計学的特徴には顕著な差が見られた。多子の親子世代に比べ、一人っ子の親子世代の年齢は低く、夫婦のみの世帯が多く、学歴が有意に高く、経済的な暮らし向きで「家計にゆとりがあり」の割合がやや高く、介護保険に対する認識が高い傾向がみられた。

4.2 「将来の介護ニーズへの準備」各要因の比較

「介護への回避」では、世帯、年齢、最終学歴との有意差が認められた。女性、介護経験がある人、介護サービスを認識している人、介護保険を認識している人、経済的な暮らし向きに「ゆとりあり」の人、接触的親孝行を期待する人、情動的親孝行を期待する人は、

将来起こりうる介護の必要性を考えたことがある人が多かった。介護保険を認識している人、介護サービスを認識している人、経済的な暮らし向きに「ゆとりあり」の人、道具的親孝行を期待する人、接触的親孝行を期待する人、情動的親孝行を期待する人は、介護支援やサービスに関する情報を収集した割合が高い傾向がみられた。「意思決定」では、世帯、介護サービスについての認識、経済的な暮らし向き、接触的親孝行、情動的親孝行への期待は有意確率 10%未満で有意水準に至らなかったが関連する傾向が認められた。「具体的計画」の高得点群と低得点群の割合に差があった項目は世帯、経済的な暮らし向き、介護保険及び介護サービスの認識、接触的親孝行への期待だった。

4.3 「将来の介護ニーズへの準備」に関連する要因

一人っ子の親世代の年齢が高いほど介護回避傾向が強まることが示されている。女性、介護保険を認識している人は、将来の介護リスクに注意を払う割合が高かった。介護経験がない、経済的な暮らし向きにゆとりがない人の方が自覚得点が低かった。接触的親孝行を期待することが「情報収集」と関連していた。現在の住まいで受ける介護サービスを認識している人は、具体的な介護準備を行う割合が高かった。経済的な暮らし向きにゆとりがない人の方が介護準備を進める割合が低い。

5. 考察

本研究では、広州市の一人っ子の親世代と多子の親世代の将来の介護ニーズへの準備状況を調査した。2つのグループには共通点と相違点が見られた。介護経験、サービスについての認識、将来の介護ニーズへの準備への自覚、情報収集、意思決定については、グループ間の差は見られなかった。しかし、一人っ子の親世代は若く、夫婦のみの世帯が多く、学歴が有意に高く、経済的な暮らし向きの「家計にゆとりがあり」の割合がやや高く、介護保険に対する認識が高いことがわかった。

一人っ子世帯において、年齢が高いほど、介護の選択肢が限られ、介護準備の有効性を否定する可能性がある。したがって、できるだけ早い段階でより明確な介護プランを立てられる支援が必要であると考えられる。また、柔軟な計画を立てることは、自分の人生をコントロールしたいという願いと、将来の不確実との間の矛盾に対処する方法である。準備を可能にする資源をより多く利用できる個人が、計画の有用性を認め、計画を立てる可能性が高いと考えられる。したがって、経済保障、生活保障という二つの側面から、将来の介護生活に対して計画を事前に立てるべきだ。

同時に、本研究の結果は、一人っ子世帯の親と多子世帯の親の両方において、子どもからの接触的親孝行への期待は依然として非常に強いことを示している。そのため、親との接触頻度を増やし、親の生理的・心理的悩みを常に気にかけることの重要性が示唆された。

文献

- [1] 中国發展研究基金会 (2020) 『中国發展報告 2020：中国人口高齢化の發展動向と政策』
中国發展出版社
- [2] 睢党臣, 程旭, 李丹陽 (2022) 「中国における人口高齢化への積極的対応と一人っ子の親の養老問題」陝西師範大学紀要 (哲学・社会科学編) (2), 61-72.
- [3] 李漢東, 王然, 任昱潔 (2018) 「一人っ子政策以降の一人っ子数と家族構造の分析」統計と決策 (13) , 99-104.
- [4] 陸杰華, 林嘉琪 (2021) 「中国の新しい人口動態状況の特徴、影響、対処戦略：「七大」調査データに基づく分析」中国特色社会主義研究 (3) , 57-67.
- [5] Sun JJ, Zhang YL, Zhang XH, Song XM, Chen G. (2021) 「Perspectives: Situation, Challenges, and Countermeasures of Home-Based Healthcare Service Supply and Demand in China」China CDC Weekly 3(40): 847-852 (<https://weekly.chinacdc.cn/en/article/doi/10.46234/ccdcw2021.209>) (2023年5月 アクセス)
- [6] Zhang R, Lu Y, Shi LY, Zhang SL, Chang F. (2019) 「Prevalence and patterns of multimorbidity among the elderly in China: a cross-sectional study using national survey data.」BMJ Open ;9(8) (<https://bmjopen.bmj.com/content/9/8/e024268>) (2023年5月 アクセス)
- [7] 陸杰華, 張莉 (2018) 「中国老年人の介護ニーズモデル及び影響要因の研究—中国老年社会追跡調査のデータに基づいて」人口学刊 40 (2) :22-33.
- [8] 陸杰華, 馮慧迪 (2022) 「中国の一人っ子の親の介護に対する選好の特徴とその政策の探求」青年探索 (6) :5-16
- [9] 曾晓 (2019) 「都市部一人っ子の親の養老モデル選択及び影響要因の研究」西南交通大学論文
- [10] 紀競壺 (2015) 「一人っ子しかない、老後に誰を頼るべきか?—一人っ子の親の養老意識及び影響要因の分析」老齡科学研究 (8) :35-44.
- [11] Jeong Eun Lee, Dahee Kim, Eva Kahana, Boaz Kahana (2022) 「Feasibility and acceptability of the community-based program: Plan Ahead」Aging and Mental Health 27(1):1-9.
- [12] Friedemann, M. L., Newman, F. L., Seff, L. R., & Dunlop, B. D. (2004) 「Planning for long-term care: Concept, definition, and measurement」The Gerontologist (44) , 520-530.
- [13] Sörensen, S., & Pinquart, M. (2001) 「Developing a Measure of Older Adults' Preparation for Future Care Needs」International Journal of Aging & Human Development, 53, 137-165.
- [14] Aspinwall LG, Taylor SE. (1997) 「A stitch in time: self-regulation and proactive coping」Psychological Bulletin 121 (3) , 417-436.
- [15] Mak W, Sörensen S. (2012) 「Trajectories of Preparation for Future Care Among First-Degree Relatives of Alzheimer's Disease Patients: An Ancillary Study of ADAPT」The Gerontologist 52 (4) , 531-540.
- [16] Sörensen, S., & Pinquart, M. (2000) 「Preparation for future care needs by West and East German older adults」The Journals of Gerontology, Series B: Psychological Sciences and Social Sciences (55) 357-367.
- [17] Sörensen, S., Mak, W., Chapman, B., Duberstein, P. R., & Lyness, J. M. (2012) 「The relationship of preparation for future care to depression and anxiety in older primary care patients at 2-year follow-up」American Journal of Geriatric

- Psychiatry (20) , 887- 894.
- [18] Sörensen, S., Mak, W., & Pinguart, M. (2011) 「Planning and decision making for care transitions」 Annual Review of Gerontology & Geriatrics(31) , 111-142.
- [19] McCay, H. (2006). 「Final report on the “Own Your Future” consumer survey」 (<https://aspe.hhs.gov/reports/final-report-own-your-future-consumer-survey-0>) (2023年6月 アクセス)
- [20] Sörensen, S., & Pinguart, M. (2001) 「Vulnerability and access to resources as predictors of preparation for future care needs in the elderly」 Journal of Aging and Health (12) , 275-300.
- [21] Mak, W., & Sörensen, S. (2012) 「Trajectories of preparation for future care among first-degree relatives of Alzheimer’s disease patients: An ancillary study of ADAPT」 The Gerontologist 52:531-540.
- [22] Black, K., Reynolds, S. L., & Osman, H. (2008) 「Factors associated with advance care planning among older adults in Southwest Florida」 Journal of Applied Gerontology 27:93-109.
- [23] Cong, Z., & Silverstein, M. (2012) 「Parents’ preferred care-givers in rural China: Gender, migration and intergenerational exchanges」 Ageing and Society 34:727-752.
- [24] Lee, J. E., Zarit, S. H., Rovine, M. J., Birditt, K. S., & Fingerman, K. L. (2012) 「Middle-aged couples’ exchanges of support with aging parents: Patterns and association with marital satisfaction」 Gerontology 58: 88-96.
- [25] Dahua Wang , Ken Laidlaw , Mick J. Power , Jiliang Shen (2009) 「Older People’s Belief of Filial Piety in China: Expectation and Non-expectation」 Clinical Gerontologist. Vol 33 (1) :21-38.
- [26] Yoon, E., & Kropf, N. P. (2018) 「Correlated factors with filial piety expectations of older Koreans and Korean-Americans」 Journal of Ethnic & Cultural Diversity in Social Work, 27(4):310-327.
- [27] Lee, G. R., Netzer, J. K., & Coward, R. T. (1994) 「Filial responsibility expectations and patterns of intergenerational assistance」 Journal of Marriage and the Family:559-565.
- [28] Ron, P. (2019) 「The Relationships between Family Support, Attachment Types in Adulthood and Attitudes towards Filial Responsibility among Three Generations of Arab and Jewish Men」 Advances in Aging Research 08(5):88-106.
- [29] Van der Pas, S., van Tilburg, T. G., & Knipscheer, C. P. M. (2005) 「Measuring older adults’ filial responsibility expectations: Exploring the application of a vignette technique and an item scale」 Educational & Psychological Measurement, 65(6), 1026-1045.
- [30] 風笑天 (2009) 「都市部の一人っ子と親の居住関係」学海 (5) .
- [31] Pinguart, M., & Sorensen, S. (2002) 「Factors that promote and prevent preparation for future care needs: Perceptions of older Canadian, German, and U.S. women」 Health Care for Women International, 23 : 729-741.
- [32] Xue Bai, Chang Liu, Yajun Song, Silvia Sörensen (2022) 「Adaptation and Validation of the Preparation for Future Care Needs Scale for Chinese Older Adults in Hong Kong」 The Gerontologist, Vol 62(7) : 357-368.
- [33] グッドタイムリビング株式会社 (2018) 「介護に関する意識調査データ」 (https://www.gtl-daiwa.co.jp/uploads/questionnaire_2018.pdf) (2023年10月 アクセス)
- [34] Boerner, K., Carr, D., & Moorman, S. (2013) 「Family relationships and advance care planning: Do supportive and critical relations encourage or hinder

planning?」 The Journals of Gerontology, Series B: Psychological Sciences and Social Sciences, 68, 246- 256.

^[35] SOMPO リスクマネジメント株式会社 (2019) 「親の介護に関する調査」結果
(https://www.sompo-hd.com/-/media/hd/files/news/2019/20191220_1.pdf?1a=ja-JP)
(2023年11月 アクセス)